

平成18年度高等部総合的な学習 学習発表会



私の福祉支援機器開発プロジェクト  
「プロジェクトM」後編

---

日時：平成19年2月14日（水）

場所：体育館



## これまでの経過

---

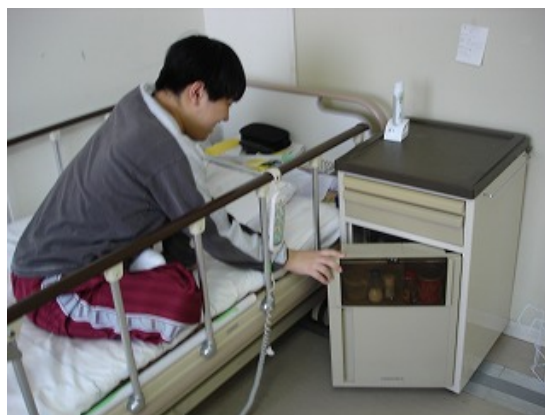
- 10月までの学習で  
支援技術の考え方、実際の支援機器を学びました。
- その結果、
  - ・ 支援機器を使うことにより、自分の生活が広がったり、楽しくなったりすることが分かりました。
  - ・ 私が支援技術を勉強することで支援機器を利用する当事者として、気づいた事を伝え、様々な人に協力してもらうことで、より良い支援機器が生まれるのではないかと考えました。

## 私のより良い生活のために・・・。

- 自分の生活で不便な事に対して自分で考え、自分に合った支援機器を作ります。

## 現在の私の生活で不便な事は・・・。

自分で消灯台のおやつを取ることができない。



→ 自分でおやつを取れるようにしたい。(Need)

## どのような支援機器が考えられるか？

- 自分に合った支援機器を作るために田中OTから話を聞きました。
- 田中OTからのアドバイスは、

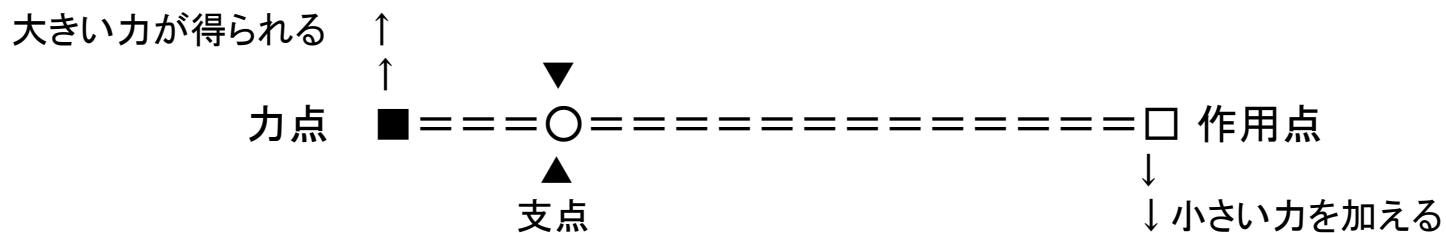
支援機器を作る時は、  
色々な方面から様々な方法を考えた方がいい。アドバイスとしては、  
1、てこの原理を利用したら？  
2、リーチャーを調べてみたら？



# てこの原理について

- ・てこには「**力点**、**支点**、**作用点**」があり、力点は力を加える、作用点は物を動かす部分、支点は、力を大きくしたり、小さくしたりする部分です。**少しの力で重い物が動かせます。**

てこの例(第一のてこ)



・出典: フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』より

## リーチャーとは

- 物が取れないとき、使う支援機器です。
- 会社によって色々工夫されていました。





## 課題分析による

# 自分で出来る事、自分の出来ない事。

---

### 自分で出来る事

- ・扉を開けることができる。
- ・てこの原理を使うと物を上げる事ができる。
- ・近くであれば引っ張ることも大丈夫。

### 自分の出来ない事

- ・手を下にする重心が下にいってしまい、手で持ち上げるのが難しい。
- ・手を上に持ち上げると体が斜めになって、バランスが悪くなり危ない。
- ・体より下の物を取った時は掴みながら起きるのが難しい。



# 支援機器を作る時のポイント。

---

- バランスを保つためにこの原理を利用して、物を取るように考える。
- 物をしっかりと持てるようにしたい。
- 邪魔にならないで、遠い所も取れるようにしたい。
- 自分で持てる位の重さを考えて、軽めになりたい。
- できるだけ身近な材料で、簡単に作りたい。





# 私のプラン

---

- プラン1 棒にマジックテープをつけて取る。
- プラン2 マジックハンド(はさみ棒)をつかっている。
- プラン3 そうじきで吸い付ける。
- プラン4 棒にちりとりを付ける。
- プラン5 強力磁石を棒とおやつにつける。
- プラン6 棒にフックをつけ、袋に入れておき、引っ張る。
- プラン7 台のベット側もあげる事ができるようにしている。
- プラン8 棒とおやつにチャックをつけて、それを利用している。
- プラン9 滑車を上につけて、紐を通し、ひっぱって取る。
- プラン10 棒に網をつけて取れるようにする。

# プラン1

## ツケツケ棒

棒にマジックテープをクリップを付けて、おやつにも同じのを付ける。



- ・マジックテープ同士を付けることは出来るけど、ひきあげるとすぐ取れてしまい難しい。

## プラン2

### ハンドキャッチ

マジックハンドで掴むようにする。



- ・握る時に、手に強い力で物を掴まないと  
上げるときに落ちてしまうので工夫が必要。



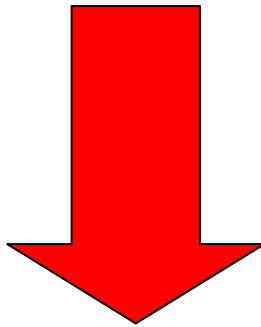
## プラン3(不可)

---

### 掃除機棒

掃除機をつかってすいつけて取る。

結論



- ・掃除機のような物をつけて取ると、おかしに損傷を与えることになる。
- ・よほどの吸引力でなければ、落っこちる。

# プラン4

## ちり取り棒

棒にちり取りをつけて、  
消灯台の中のおやつを取るようになる。



- ・ちり取りの幅が大きすぎて困難。
- ・上げるのに手に負担が掛かる。

# プラン5

## 強力棒

おやつと棒に強力磁石を付けて、取るようにする。

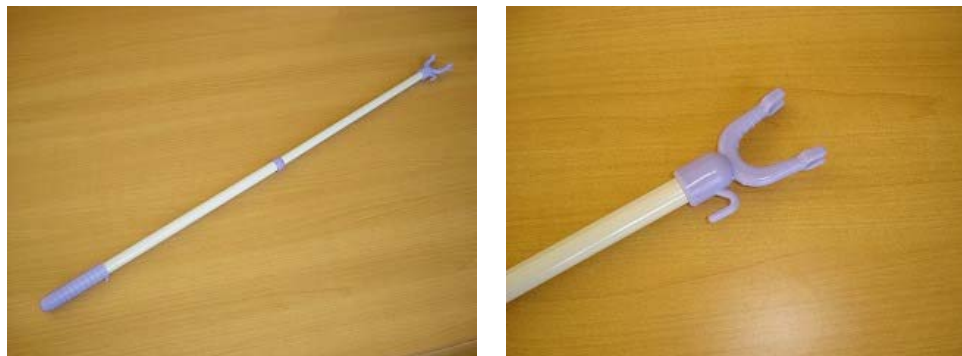


- ・おやつを持ち上げる事ができる。
- ・磁石で付くけど、物を上げる時に磁石が重すぎる。

# プラン6

## 引っ掛け棒

棒に引っ掛ける物を付けて、紐が付いている袋を引っ掛けて引っ張る。



- ・おやつを持ち上げる事ができる。
- ・袋の穴に通す時、少し技術が必要。

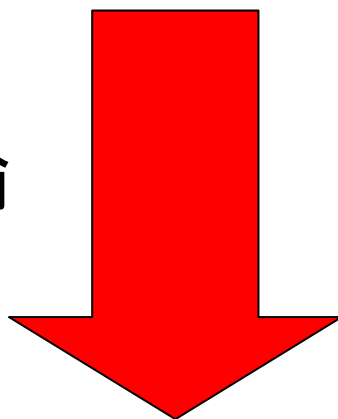


## プラン7 (不可)

---

消灯台の周りを全部、扉を作って取れるようにする。

結論



- ・消灯台は病棟の物なので、勝手に扉を作ってはいけない。





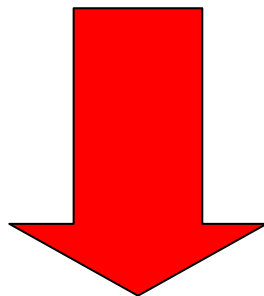
## プラン8 (不可)

---

チャック棒

棒とおやつにチャックを付ける。

結論



・うまくチャックをつけるのが難しい。



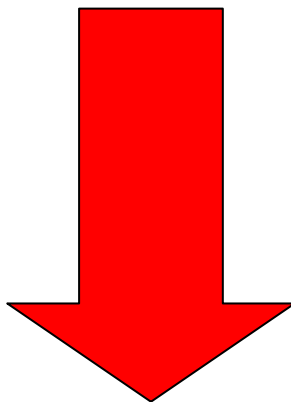
# プラン9

---

## 滑車

部屋の上に滑車を付けて、おやつを取るようになる。

## 結論



- ・邪魔になり、落ち着かない。
- ・病院の人に迷惑をかけてしまう。

# プラン10

## 網棒

棒に網を付けて、物を取るようになる。



- ・おやつを持ち上げる事ができる。
- ・網が大きすぎて、もう少し丈夫にした方がいい。



# プランの結果

---

## 実験の結果

- プラン5 磁石を利用する。
- プラン6 フックを利用する。
- プラン10 網を利用する。

以上のプランでおやつが取れました。

この結果、3つの方法(プラン)を基に材料を集めて私にあった支援機器を作りたいと思います。



# 学習で学んだ事

---

- 様々な福祉支援機器を調べた上で、考えた方がいい。
- プランは一つだけではなく色々考え、一番自分で使いやすい物を実際にやってみて確認し、考えた方がいい。
- 物にこだわらず身の回りの物を、利用して簡単に作る方がいい。
- 自分で出来る事、出来ない事を明確にして作る事が大切。



## まとめ

---

- 今回の学習では、自分自身の生活をよくしようと思い、私を分析して支援機器を考えました。
- **自分自身の支援機器を作るには**、作れる人に自分が出来る事、出来ない事をしっかり伝えて協力してもらうことが必要です。
- **一般的な支援機器を作るには**、様々な障害や年齢の人のニーズを確認し、何が一番大変か、どういう要望が多いのか、しっかりまとめた上で伝えていく事が大切です。



# 今後の取り組み

---

- より多くの人に合った支援機器を作るために・・・。

- 1, 今回作成する支援機器も含めて、一人一人に合った様々な支援機器を具体例として、ウェブページなどで発信していきたいと思います。
- 2, 様々な障害や年齢の人のニーズを確認し、何が一番大変か、どういう要望が多いのか、しっかりまとめた上でウェブページで発信したり、支援機器を開発する企業などに伝えたりしていきたいと思います。